

決算の状況

I 決算概況

(1) 平成 25 年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は 2 兆 9,366 億円で、諸収入が減少したものの、府税及び地方譲与税が増加したこと等により、234 億円、率にして 0.80%増加している。

(2) 一方、歳出決算額は 2 兆 9,014 億円で、人件費及び貸付金支出が減少したものの、公債費が増加したこと等により、83 億円、率にして 0.29%増加している。

(3) 形式収支は、352 億円の黒字を計上し、8 年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、224 億円の黒字となり、前年度に比べ、101 億円増加している。

(4) 一般会計と特別会計（Ⅱ 3 特別会計参照）の額を合算したものから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、243 億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、25 年度は、府税収入が増加したものの、減債基金の復元を前倒しで行ったことや過去に発行した起債の償還時期の到来などにより公債費が増加したため、前年度より 1.5 ポイント上昇し、98.7%となった。

平成24年度及び平成25年度一般会計決算

(単位:億円)

		25年度	24年度	差引
予 算 現 額		29,727	29,683	44
歳 入 決 算 額 A		29,366	29,132	234
主 な 科 目	府 税	11,171	10,696	475
	法 人 二 税	3,049	2,780	269
	地 方 消 費 税	2,712	2,652	59
	地 方 譲 与 税	1,456	1,212	245
	地 方 特 例 交 付 金	46	49	△ 2
	地 方 交 付 税	2,844	2,844	0
	国 庫 支 出 金	2,545	2,418	127
	繰 入 金	673	712	△ 38
	諸 収 入	4,538	5,128	△ 591
府 債	3,781	3,925	△ 143	
歳 出 決 算 額 B		29,014	28,931	83
主 な 科 目	義 務 的 経 費	12,250	11,590	660
	人 件 費	7,820	8,221	△ 402
	公 債 費	3,965	2,917	1,048
	扶 助 費	465	451	14
	投 資 的 経 費	1,496	1,522	△ 26
	そ の 他 経 費	15,267	15,819	△ 551
	補 助 費 等	9,605	9,465	140
	貸 付 金	4,163	4,835	△ 672
形 式 収 支 C=A-B		352	201	151
翌年度繰越財源 D		128	79	50
実 質 収 支 C-D		224	123	101

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源（翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの）